

佐賀県生涯学習インストラクターの会

# クリエイイトさが通信

～生きがいさがしと居場所づくり～

令和元年7月発行(第36号)  
クリエイイトさが  
会長 大島 弘子  
〒840-0805  
佐賀市神野西 4-1-6  
<http://create-saga.com>  
Tel. 0952-32-3939

## 令和元年度総会を終えて

会長 大島弘子

六月四日(火)アバンセで、令和元年度総会を、四十九名(委任状含む)の出席で開催しました。

総会には、アバンセの徳淵優子副館長、県まなび課の坂井広典係長をお迎えしました。

来賓の方から人生一〇〇年時代と言われている今、学びをキーワードに活動すること・更なる居場所づくりに取り組んで欲しいとご挨拶を頂きました。

今年の総会は

・一部：総会

・二部：講演会

演題「これからの社会教育生涯

学習について」

講師：関 弘紹先生

・三部：交流会

議長には、佐々木真由美さんが

選出され、三十年度事業報告・決算・

監査報告 令和元年度事業計画案

予算案が承認されました。

二部の講演会では、なごやかな雰囲気の中にも生涯学習インストラクターとしての心がまえとして時代の変化を捉え行動することなど沢山の示唆をいただきました。

三部の交流会では、各自の活動状況報告などで有意義な時間でした、

なお、講演会には一般の方十名が

聴講頂きました。

会場には、物づくり部の野中国秀さんのロープワークや隈本ヒデ子さんの絵手紙などの展示で会が盛り上がりしました。

皆で楽しく・笑顔で力を合わせ

生涯学習の推進に努めましょう。

そのためには、各自がフレイル(虚弱)にならないように、食べ物・運動・社会参加・口腔ケアの四つの柱で健康づくりをしましょう。また、

各部で開催する各事業へ多くの会員の参加をお願いします

### 講演主旨

◆「ひきこもり」と「老いる(オイル) ショック」この頃まで「若者のひきこもり」に対してどうすればいいかと思っていたが、現在は、

内閣府の調査で若者の引きこもり

五十四万人・中高年六十一万三千

人と発表された。どのようにして高

齢者を引っ張り出していくかが課題

である。

◆人生を楽しむ、より良く生きていく為に人は学ばなければならない。

不真面目・非真面目・生真面目とあるが、非真面目位が一番丁度良いと思う。

◆受け止め方は人様々であり、込められた思いを分かりやすく伝えることが大切。

(例：うさぎとかめ、二宮金次郎と

スマホ、五円玉の絵の話)

◆会話をしなくても生活が出来る時代であるが、会話をすることは大切だ。人は必要とされることを必要としている。サロンでも一回休むと行きにくくなる。二回休むと十一階に

アバンセ 徳淵 副館長 様

クリエイイトさが 大島会長



令和元年度 クリエイトさが総会風景 6月4日(火) アバンセにて

登るかのようになりに更に困難になる。故に「貴方が来なかったから寂しかったよ」と伝え続けることが大切。「来るもの拒まず、去るもの追え」総会記録は、クリエイイトさが 会員 山村真里子さんにお願ひしました。感謝 感謝 ペコリ(〇)し(〇)



皆と語りましょう (関 先生を囲んで)

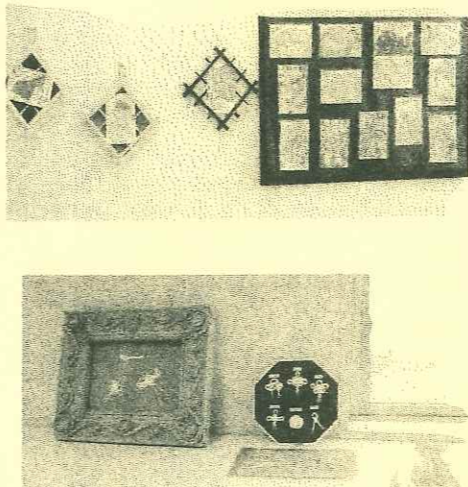
学び課 坂井係長 様

左の写真 (上 物づくり部・絵手紙・割りばし壁掛け)

(下 ロープワーク)



クリエイティブが 徳光さつきさんが撮影され、本人は写っておりません・・・残念



### クリエイティブがに入会して

佐賀市日の出 会員 前田キクエ  
この度は、素晴らしい生涯学習インストラクターの会、クリエイティブに入会させて頂き有難うございました。先十六回総会に出席させて頂きました。関弘紹先生のお話は大変勉強になりました。数多くの話題のなかで、今、

社会教育の文字が消え生涯学習推進課、地域学習推進課と変わり、平成二十四年四月に、まなび課となる。社会教育課が無くなってすぐ佐賀県がいち早く取り組み(佐賀シヨック)と名を売ったとの事。引きこもりの話では、若者から中高年で一五万四千人がいると言う。私事、昨暮に八十一歳を超えて佐賀市へ転居したため、ひきこもりになって暮らすのではと真剣に悩んだとき、会員の西田富子さんが私を車に乗せ「ここが郵便局・ここがスーパーよ、ここからこう行けば貴方の家よと道順を教えてくださいました。その後、アバンセで活動していた頃の友人、知人が遊びにきてくれるようになり助かりました。ひきこもりになる要因はいくつもあると思いますが、やはり声かけが一番必要ではないかと実感しました。講話の中で兎と亀の話や老いるシヨック、二宮金次郎とスマホの話があり興味深かった。「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。

「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。

「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。

「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。

「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。

「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。

「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。

「人は必要とされることが必要であり、教えることは学ぶこと・学ぶことは教えることである」と話されました。最後になりましたが大島弘子会長いろいろいつもお気遣い下さいまして有り難うございました。



2019年4月1日  
菅官房長官が発表

### 新元号『令和』への想い

クリエイティブが会員 原日照代  
平成から令和へ新時代の幕開けに日本列島は喜びに沸きました。

天皇陛下生前譲位ということもあり天皇(即位の五月一日は、ゆかりの地大宰府は祝福の人々で溢れていました。駅に、参道に令和と出典の序文が書かれた旗がはためき、韓国、中国などの観光客も多く、多くの人で賑わっていました。

令和の出典は日本最古の歌集「万葉集」巻五「梅花の歌」三十二首の序文です。天平二年正月十三日に師老の家にあつまりて宴会を申ぶ。

『初春の令月にして、気淑く

風和らぎ、梅は鏡前の粉を披き、

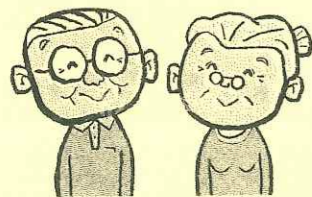
蘭は珮後の香を薫らす』

この序文の作者は政治家であり歌

年金制度の導入を目指すと言われているが、財源と給付の全体像は見えない。

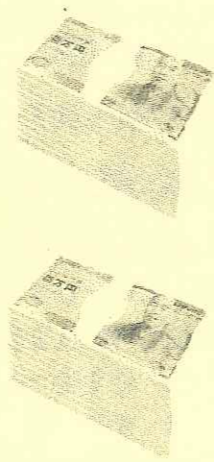
日本維新の会は現在の現職の掛金で年金を支払う方式から、自身の保険料「積み立て方式」への移行を提言しているが、数十年の期間を要する。いざれにしても人生百年時代議論すべき課題である。選挙対策や党利党略でなく、冷静に現実と全体像の共通認識の上で、民の目線で政策議論をしてもらいたい。声高に誇張した批判をしたり、出すべき年金財源の状況を遅らせたりする政党を民は望んでいない。各政党がトータル年金制度を示して、相互に質疑応答し、討論を戦わせ、合意形成する政策決定の国会こそ大金を使う国会の使命ではないだろうか。

天人の声だけを聞かないで、地域の声・民の言葉を聴いてほしいものである。(楽)



最近「フレイル」と言う言葉を、よく耳にします。フレイルとは、健康から要介護へ移行する中間の段階・加齢に伴い筋力が衰え疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど(年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般)・・・痴呆症などの疾患や転倒など

### 二千万円騒動記



#### 地声民語 ペンネーム

国政は二千万円をめぐって百花騒然である。担当大臣は答申を受け取っても受け取らなくても批判される損な役まわりであるが、それが職と言うものであろう。

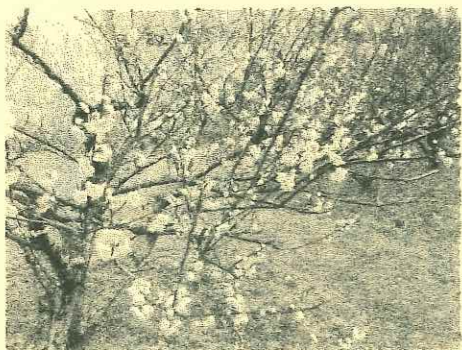
そもそも年金で老後の生活が全て賄えるなど小生は思っていない。私が昭和三十五年役所に奉職した時国家公務員である地方事務官(県庁内にある国民年金課)が加入推進する国民年金制度の町内案内役であった。

当時掛金は二十才〜三十四才は月額百円、三十五才〜六十才は月額百五十円、年金額は二万四千円で、とても生活保障するようなものではなく、せめて高齢者への小遣い程度であった。

その後国民年金に上乗せ掛金をした農業者年金制度も作られ、家計も農業経営も若い世代へ引き渡す事には大きな効果があった。

人であった大伴旅人という説が有力です。太宰の師として大宰府に赴任した大伴旅人は役所の役人達を自宅に招き、梅花の宴を主催しました。梅を愛し酒を愛した遠い万葉集の歌人が急に身近に感じられてきました。「梅花の宴」の舞台となった大伴旅人の邸宅は大宰府の坂本八幡神社一帯と言われています。

### 万葉の 蘭に令和の 香が薫る たつぷりの 愛に令和の子が育つ



梅の花

(万葉集巻五 梅花の歌三十二首 掲載より引用)

## 《生き生き教室》

牛津公民館 八頭司美和

小城市牛津町では高齢者学級という事業があり、町内各地区の老人クラブに年間を通して色々な講座を提供しています。

クリエイトさが様には平成二十八年度より講師を依頼して好評を得ており、今年度は『自慢くらべ』という演目の寸劇、お手玉遊びや歌を歌いながらの手遊びで脳を活性化させる脳トレと盛りだくさんの講座をしていただいています。

先日、天満町区での講座に参加させていただきました。七〇歳から八十歳代の受講者は皆さん佐賀にわか風の演劇や脳トレに笑いがあふれ、こちらが嬉しくなるほど目を輝かせ生き活きと活動をされていきました。いつまでも元気に過ごすコツが満載の『ポケます小唄』と『ポケない小唄』の歌詞には、みなさん頷かれています。帰り際、口々に「とても楽しかった！」と大満足の様子でした。今後も楽しい講座を期待していただきます。

いつでも、どこでもスタッフ揃えばOK



## 全国公民館大会のご案内

大会テーマ「社会教育や公民館の隘路を拓く」がばい つながろ 人と人

令和元年8月29日(木)～30日(金)

第41回全国公民館研究集会

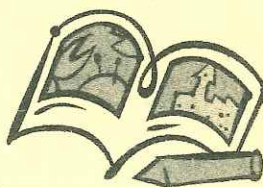
第49回九州ブロック社会教育研究大会

第70回九州地区公民館研究大会 佐賀大会

◆第1日 全大会：佐賀市文化会館大ホール・中ホール

◆第2日 分科会：佐賀市文化会館中ホール他(全6会場 8分科会)

申込は大島会長へ(32-3939)…至急



## 新入会員紹介

前田キクエさん

上野 桂子さん

大島ひろみさん

一緒に学びましょう



## 今後の事業

※まなびいフェスタ

日時：10月6日(日)

場所：アバンセ

※三県交流会(佐賀・大分・久留米)

日時：10月27日(日)

場所：大分県日田市…日田市複合文化施設

アオーゼ10時

※先達に学ぶ交流会(公開講座)

日時：11月10日(日)

場所：吉野ヶ里歴史公園

※15周年記念事業

日時：令和2年1月末～2月初旬頃予定

場所：今後の役員会で決定し連絡します

## 今後の派遣事業

七月二十四日・・・武雄市春慶屋

私の声聞こえますか

笑って健康 コミュニケーション

九月五日・・・武雄市春慶屋

遺産相続関係

笑う門には福が来る

九月二十日・・・武雄市春慶屋

防災グッズ作り体験と講義

十一月十九日・・・武雄市春慶屋

ことぶき会 女性学級

十一月二十二日・・・ゆつたらくと館

ゆつたらくと大学

日本人の数のしきたり

編集後記 皆さんお元気ですか

今年に記念すべき令和元年なのに、

なぜか忙しすぎて、(一)月(二)月(三)月忙しすぎて泣いています。

現在、辻自治会長(約600世帯)

会長職四年目で、校区の三役(総務・会計)

や他に関連の役職が盛り沢山

血を吐くような忙しさの中で、通信作成

ゆつくり布団にも休めません(毎日仮眠状態)

(とてもやつれて、目には隈点(かみじり)が飛んでいます)

それなのに地域の高齢者元気づくり

(私も高齢者)を月一回行っています

名称・スポレクひろば(辻元気クラブ)

・辻いきいきサロン(食事付)

皆様のおかげでやっと通信が出来上がりました。

(発行日前日に) “ほつ” 西村文子(こ)

